

ネットワーク長野県史料協

新たな松本市文書館の開館

松本市文書館 館長 小林 高樹

1 文書館開館から新たな文書館建設へ

松本市は、歴史資料として重要な公文書、地域の古文書等を収集して整理・保存をし、広く市民の皆さんに利用していただく事を目的に、平成10年10月に旧支所の建物を活用した「松本市文書館」を開館しました。

以来、文書館では公文書等の整理、保存、調査・研究をはじめ、文書にかかわる専門的な知識の普及や啓発等の事業を実施してきましたが、旧支所からの建物は築30年を超え、老朽化が進み、収蔵スペースも不足し、耐震・耐火設備が充分でなかったこと、また、国において平成21年に制定された公文書管理法により、地方自治体においても、公文書の適正な保存とその活用についての必要な施策の策定と実施の努力義務が明確化されたことから、建て替えが急務となり、文書館を新しく建設し、移転することとなりました。



松本市文書館外観

2 新文書館の開館

新しく建設された文書館は、プロポーザル方式により実施設計され、昨年7月に竣工、2カ

月間の移転準備作業を経て9月24日に開館を迎えました。

旧施設の2倍を超える規模で、最新の消火設備を備え、災害に強い構造となり、有史以来の「松本」にかかわる貴重な公文書等を保存・管理・活用するに相応しい施設となりました。

合併旧5町村（四賀村、安曇村、奈川村、梓川村、波田町）の文書の移管・保存が可能となり、さらに将来を見越した収蔵スペースを確保しております。閲覧コーナーや講義室を広く配置したことにより、来館者の利便性も向上しました。



開架・閲覧スペース

また、単に文書を保存し、閲覧するというだけでなく、子供から大人まで松本市の平和行政について学んでいただけるように、「平和資料コーナー」を設置し、平和に関する館収蔵の歴史文書、写真、現在の松本市の平和行政の取り組みなどを展示するとともに、市民の皆さんが地域への誇りと将来への希望を持てるよう、「松本の礎を築いた人たち」を紹介するコーナーも設けており、まさに学都松本の一つの拠点として、多くの皆さんにご利用いただきたいと考えています。

文献史料保存活用講習会に参加して

一茶記念館 中村 敦子

一茶記念館では、小林一茶の命日11月19日の翌日、一茶忌全国俳句大会に参加できなかった方1,000人余に作品集を発送するのが、恒例の大仕事となっている。しかし、今回の史料協のテーマは、一茶記念館にとっても身近な問題であると思い、午後の日程のみ参加させていただいて、国文学研究資料館准教授 西村慎太郎さんの「地域歴史資料保全の現状と課題」の講演をお聞きすることができた。その中から、記念館が取り組むべきことについて考えてみたい。

西村さんが、散逸を危惧している史料とは、すでに博物館・図書館・文書館におさめられているものではなく、民間所在資料のことである。1950～60年代に自治体史（誌）編纂事業等で調査・研究された史料が、50年以上経過した現在、三重県では17.2%が行方不明、大分県でも、20～30%が行方不明であるという。一方、歴史史料ネットワーク、宮城歴史資料保全ネットワーク、茨城史料ネットワークなどが、被災資料の救出、目録作成、公開、研究成果の発表を行って地域に還元した取り組みなどを紹介された。

民間所在資料を遺すためには、自治体などが所蔵者に働きかけて調査を行い、地域資料、文化財として位置づけること、また、研究機関やボランティアも加わって後継者を育てることが重要であるという、大変興味深いお話をうかがうことができた。

地域歴史資料とは少し異なるかもしれないが、記念館は2003（平成15）年のリニューアル後、一茶資料の収集、保全、一茶資料の所在調査を意識的に行ってきた。西村さんが危惧されたのと同様、代替わり、引っ越しで所在不明となったものや、大災害ならずとも、虫損・カビ害などによって傷んでしまったものも多数ある。所有者には先祖の深い思いがあり、意向を尊重し

ながら、修復や寄託という形で協力して、一茶の自筆資料の保存、公開につとめている。

朗報だったのが、1年前に一茶記念館で公開させていただいた『柏原雅集』である。一茶顕彰に尽力した地元柏原の中村六左衛門家が明治30年代に収集した一茶資料の貼り交ぜの折本で、京都の収集家の末裔宅から見つかり、この中に所在不明だった一茶が妻きくにあてた手紙も含まれていたのである。これらは、記念館に寄託していただき、修復して活用するという道が開かれたのは幸いであった。

一茶記念館が収蔵している資料で最も多いのが、民間所在資料である。各地区の旧家や公会堂などで保管されてきた古文書を、ボランティアとともに整理・目録化して、寄託となったものが1万点を超える。個人に返された資料も多い。ボランティアは、信濃町在住の人ばかりではなく、長野市などから通ってくれる人もいる。

田舎でボランティアに携わる人はそれほど多くはないが、最近では70代、80代となっても、生きがいとして古文書を楽しんでおられる。年金生活が厳しい昨今、ぎりぎりまで働く人も多く、せっかく整理作業で努力された方がその内容を自ら学ぶ前に体調をくずしてしまうこともあり、大変申し訳なく思う。気軽に学ぶ学習会を行っていくこと、また、普及活動の大切さを痛感している。

小さな取り組みではあるが、自分でテーマを決めて古文書を解読する勉強会を行ったり、一茶記念館らしい普及活動として「一茶と学ぶ古文書教室」で、この地域の史料を解読する学習会を行っており、次世代の人達にいかに広げていけるかが課題となっている。

長野県史料保存活用連絡協議会 平成26年度事業記録

- 第1回理事会・総会・第1回講習会 6月25日(水) 岡谷市イルフプラザ
 講習会 講師：長野県教育委員会事務局文化財・生涯学習課 主事 大月久史氏
 演題：「著作権法概論 ～日常業務の中で気をつけるべきこと～」
 現地見学 岡谷市の渡辺家住宅および史料
 第2回講習会 11月20日(木) 長野県立歴史館
 実践報告 飯田市美術博物館 学芸員 村松 武 氏
 真田宝物館 学芸員 降幡浩樹 氏
 講演 講師：人間文化研究機構 国文学研究史料館 准教授 西村慎太郎 氏
 演題：「地域歴史資料保全の現状と課題」
 第2回理事会 3月6日(金) 長野県立歴史館

会員の平成27年度の予定 (機関名五十音順)

- ◆飯田市歴史研究所
 イベント名：第13回飯田市地域史研究集会 「文化的景観」
 期日および会場：平成27年9月5日(土)・6日(日) 飯田信用金庫 大会議室(予定)
 概要：国際的な視点をふまえて南信州地域における文化的景観を検討するとともに、飯田・下伊那の景観を具体的に検証し、そのような遺産を後世に伝えてゆくことの重要性を議論する。
 問い合わせ先：飯田市歴史研究所 TEL 0265-53-4670 E-mail: iih@city.iida.nagano.jp
- ◆伊那市教育委員会
 イベント名：特別展「高遠藩内藤家の参勤交代」 伊那市立高遠町歴史博物館
 期日および会場：平成27年3月25日(水)～6月21日(日)
 概要：高遠藩主内藤家の参勤交代の行列の様子や行程などについて、残された資料をもとにご覧いただきます。
 問い合わせ先：伊那市立高遠町歴史博物館 TEL 0265-94-2557
- ◆長野市公文書館
 イベント名：長野市公文書館講演会
 期日および会場：平成27年10月16日(金) 長野市城山分室 大会議室
 概要：真田一族(仮称)について
 問い合わせ先：長野市公文書館 TEL 026-232-8050
 イベント名：長野市公文書館パネル展
 期日および会場：平成27年10月9日(金)～18日(日) 長野市城山分室
 概要：真田一族に関わるもの(仮称)
 問い合わせ先：長野市公文書館 TEL 026-232-8050
- ◆松代文化施設等管理事務所(真田宝物館)
 イベント名：特別展「真田家の祈り—開善寺と白鳥神社」
 期日および会場：平成27年6月27日～9月7日
 概要：真田家の祈願寺である開善寺と真田家の氏神を祀る白鳥神社について、真田家との関わりやその所蔵品をご紹介します。
 問い合わせ先：真田宝物館 TEL 026-278-2801
- ◆長野県立歴史館
 イベント名：冬季展「長野県絵図・地図の世界(仮称)」
 期日および会場：平成27年12月19日～2月28日
 概要：県立歴史館が所蔵する明治期の町村絵図を中心に、近代の地図作成の営みを展示します。
 問い合わせ先：長野県立歴史館 TEL 026-274-2000

長野県史料保存活用連絡協議会 機関会員名簿 (五十音順)

平成27年4月1日現在

会員名	郵便番号	会員住所	電話番号
阿南町教育委員会	399-1502	下伊那郡阿南町2333-1	0260-22-2270
飯島町教育委員会	399-3702	上伊那郡飯島町飯島2529	0265-86-3111
飯田市歴史研究所	395-0002	飯田市上郷飯沼3145	0265-53-4670
飯綱町教育委員会	389-1293	上水内郡飯綱町大字牟礼2795-1	026-253-2511
伊那市教育委員会	396-0292	伊那市高遠町西高遠1806(高遠長谷教育振興課内)	0265-94-2557
上田市立上田図書館	386-0014	上田市材木町1-2-47	0268-22-0880
大町市教育委員会	398-8601	大町市大町4700 大町市文化財センター	0261-23-4760
小布施町文書館	381-0297	上高井郡小布施町小布施1491-2	026-214-9114
軽井沢町追分宿郷土館	389-0115	北佐久郡軽井沢町追分1155-8	0267-45-1466
坂城町教育委員会文化財センター	389-0601	埴科郡坂城町坂城6362-1	0268-82-1109
佐久市教育委員会 生涯学習課	385-0043	佐久市取出183 佐久市生涯学習センター内	0267-62-0664
信濃町教育委員会	389-1392	上水内郡信濃町柏原428	026-255-5923
須坂市市民共創部生涯学習スポーツ課文化財係	382-0081	須坂市横町1528-1	026-248-9027
諏訪市博物館	392-0015	諏訪市中洲171番地2	0266-52-7080
辰野町教育委員会	399-0493	上伊那郡辰野町中央1番地	0266-41-1681
公益財団法人 田中本家博物館	380-0085	須坂市穀町476	026-248-8008
千曲市教育委員会	387-0012	千曲市桜堂268-1番地 千曲市歴史文化財センター	026-261-3210
茅野市ハヶ岳総合博物館	391-0213	茅野市豊平6983	0266-73-0300
中川村教育委員会	399-3802	上伊那郡中川村片桐4757	0265-88-1005
長野郷土史研究会	380-0905	長野市七瀬南部14-7	026-224-2673
中野市教育委員会事務局生涯学習課	389-2101	中野市大字豊津2508	0269-38-3112
長野市公文書館(城山分室)	380-0801	長野市箱清水1-3-8	026-232-8050
長和町教育委員会	386-0602	長和町長久保455	0268-68-2127
南木曾町博物館	399-5302	木曾郡南木曾町吾妻2190	0264-57-3322
(公益財団法人) 八十二文化財団	380-0936	長野市岡田178-13	026-224-0511
松代文化施設等管理事務所	381-1231	長野市松代町松代4-1 真田宝物館	026-278-2801
松本市文書館	390-0837	長野県松本市鎌田2丁目8-25	0263-28-5570
南箕輪村教育委員会	399-4592	上伊那郡南箕輪村4840-1	0265-76-7007
箕輪町郷土博物館	399-4601	上伊那郡箕輪町中箕輪10286-3	0265-79-4860
宮田村教育委員会	399-4301	上伊那郡宮田村7021	0265-85-2314
(有) 山本マイクロシステムセンター	381-2221	長野市川中島町御厨1963-5	026-283-5353
長野県立歴史館	387-0007	千曲市屋代清水260-6	026-274-2000

事務局より

本年度も、会の活動等に関して、様々なご協力を賜り、ありがとうございました。

本号では、本年度中に新館が開館した松本市文書館から、新たな施設のご紹介をいただきました。県内では各地で、新たな文書館設置に関わる議論や、市町村の庁舎改築等による多量の公文書保存についての検討などが必要とされているようです。

当会としても、そのような問題についての率直な意見交換や、史料保存に関わる非常時の情報共有など、史料の保存と活用に役立つネットワーク機能をさらに充実させていきたいと思っておりますので、今後ともご協力をお願いします。

事務局：長野県立歴史館 文献史料課 〒387-0007 長野県千曲市屋代260-6

電話 026-274-3993 fax 026-274-3996 E-mail rekishikan-bunken@pref.nagano.lg.jp